学習指導案⑤ 「自動車の外国への輸出」

1 テーマ

日本でつくられた自動車はどのように外国に届くのでしょうか。

2 本学習指導案の活用場面

5年小単元「工業生産を支える運輸と貿易」の学習では、わが国の主な輸出品や輸出先について学習します。通常はその段階で終わりますが、ここでは、そのあと、子どもたちの関心の高い、またすでに小単元「自動車をつくる工場」で学習済みの「自動車」に焦点を当てて、日本で生産された自動車がどのように外国に届けられているのかを具体的に学習する際の指導例を示しています。

なお、小単元「自動車をつくる工業」の学習の直後に、生産された自動車が外国にどのように運ばれていくのかを課題に学習する場面を設けて指導する事例としても活用することもできます。

3 教材活用のポイント

ここでは、「日本でつくられた自動車はどのように外国に届くのでしょうか?」の画面を使用します。トップの画面をクリックすると、各場面の写真や動画を視聴することができます。また、自動車の専用船がイラストで示され、船内の様子を写真や動画で確かめることができます。

4 目標

日本で生産された自動車は、港までキャリアカーで運ばれ、そこからは自動車の専用船で外国に運ばれていることや、専用船にはさまざまな工夫がなされていることを理解することができる。

5 学習展開(1時間扱い)

主な発問・指示 / 押さえない事項	資料(*)と配慮事項
<p>1 わが国は、1年間にどのくらいの自動車が外国に輸出されていますか。</p> <p>・およそ442万台(2023年度)[※]</p>	<p>◎授業の冒頭では、自動車はわが国の主要な輸出品であることを押さえる。</p> <p><small>※(出所)日本自動車工業会</small></p>
<p>2 自動車は世界のどこに輸出されていますか。</p> <p>・アメリカ、ヨーロッパ、オセアニア、アジア、中近東など</p> <p>・世界の多くの国々や地域に輸出されている。</p>	<p>*「自動車の輸出先を見よう」 (統計地図)</p>
<p>3 学習のめあて(今日の課題)を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><p>日本でつくられた完成自動車はどのように外国に届くのでしょうか。</p></div>	

4 自動車は組み立て工場から港まで、何で運ばれていますか。

- ・専用のトラック(キャリアカー)で運ばれる。
- ・キャリアカーは、1度に5～6台の自動車が運べる。
- ・道路を走って、輸出する船のある港まで運ぶ。

5 港では、どのような船に積み込まれますか。

- 自動車専用船とその仕組み
 - ・船内は立体駐車場のようになっている。
 - ・1度に6,000台以上も運ぶことができる。
 - ・長さが200メートルもある船もある。
- 船を動かす船員さんの話
 - ・安全に運行することに心がけている。

6 外国の港から販売店には、どのように届けられるのでしょうか。

- ・専用のトラック(キャリアカー)などで運ばれる。

7 日本の自動車は外国にどのように届けられているのかを調べて、輸送手段に着目してわかったことをまとめましょう。

(まとめの文例)

日本の工場から港までと、外国の港から販売店までは、陸上をキャリアカーといわれる特別のトラックで運ばれている。また、海上では、6,000台以上も運べる自動車専用の船で大量に運ばれている。

* 「自動車が外国に届くまで」(写真とイラスト、動画による構成図)

* 「自動車専用船」(イラスト)
* ブリッジや船内、エンジン室の様子(写真や動画)

* 「船を動かす船員さんの話」(動画)
◎船で働いている人に目を向けさせることにより、関心をさらに高めることができる。

◎まとめる際には、改めて「自動車が外国に届くまで」(写真やイラスト、動画)を思い起こさせ、輸送手段に注目するよう助言する。
◎さまざまな輸送手段を使って、リレーされていることに気づかせたい。